

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 8 年 2 月 26 日

事業所名 多機能型事業所Seed&Sprout

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		机上、活動、粗大運動スペースと分かれており、好きな活動を十分楽しめ、安全を確保できるだけの広さが確保されている。	
	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		①子ども達1人1人の活動に十分に目が届き、安全確保が出来るだけの人員配置がなされている。※5～7人を配置している。 ②小集団療育の中で、子ども同士が関わりあう機会を作ったり、子どもが主体的に行動することができるように関わる事が出来る。	
	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		①子ども達にとって過ごしやすい環境作りがなされている。 ②手すり等はなく、玄関や運動療育スペースの手前に段差もあるが、子ども1人1人に寄り添い、目を配らせるだけの職員配置がなされており、その都度事故防止のための声掛けを行っている。	
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日療育後に職員による清掃、除菌作業が行われている。また、翌日の療育内容に応じた環境設定を行っている。	
	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		活動内容(机上・個別・運動・コミュニケーション)に応じたスペースを確保し、活動に応じて使い分けできる環境となっている。	
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎日、子ども達1人1人の療育中の様子や疑問点の解消、支援方法の提案等についての話し合い、情報共有のための時間が設けられている。	
	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者様からのご意見を参考に、今後の療育支援へと反映して体制を整えている。	
	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		ホームページにて公開している。	

	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		開所3年未満のため、まだ行われていないが、今後行われる予定。	
	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎日の打ち合わせの時間などに、は子どもたちの様子の情報共有や、疑問点の解消、支援方針、療育方法等について話し合う機会(研修)が行われている。	
適切な支援の提供	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		①相談や要望等のある保護者とは密に連絡を取り合い、その結果を支援内容に組み込んだり、支援記録も反映し詳細に作成したりして保護者に伝えている。 ②必要に応じて、面談や電話にて課題を聞き、対応している。	
	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		①様々な物事に興味を持ち、取り組めるよう知育玩具や遊びのバリエーションを増やしている。 ②職員から日々の様子を共有し、子どもの成長に合わせた活動内容を実施している。また、季節ごとのイベント等も支援内容に取り入れている。	
	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。また、放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		①子どもの利用となった背景や状況を共有し、個々の特性に応じた支援計画を話し合う場を定期的に確保している。 ②個々の支援内容の他に、支援目標を確認した上で、計画に沿った活動を提案している。	
	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		①個々の特性に合わせた支援計画を作成し、本人の成長に必要な支援方法を、5領域に細分化し、具体的な支援内容を設定している。 ②家庭支援をベースに、具体的な支援内容を設定している。現在、移行支援に該当する子どもの利用はない。	
	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。また、活動プログラムの立案をチームで行い、活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		①ホームページ上に支援プログラムを公表している。 ②前回の活動内容の様子を振り返り、子どもの様子に応じた活動内容を準備している。	
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		1人1人の子ども達が自分のペースで個別、集団での活動が出来るよう職員が寄り添い、働きかけながら支援を行っている。また、絵本の読み聞かせやビンゴなどの集団での活動を取り入れ、個別活動とのメリハリをつけている。	
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。また、支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		①個々に応じた支援内容を共有し、役割分担や子どもの特性の確認を毎日行っている。 ②職員間でその日の支援内容を振り返ったり、共有事項を確認したりする機会を毎日設けている。	

	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。また、定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		①支援記録を詳細に記入し、支援の振り返りや関わり方について話し合う機会を設けている。	
	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動(自立支援と日常生活の充実のための活動、体験的な活動や遊び、地域との交流の機会、子どもの主体的な参画による活動)」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		・子どもが主体的に活動を選択したと感ずることができるように関わり、4つの基本活動を複合的に取り入れた活動を提案し支援している。	
	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・子どもが主体的に活動を選択できる支援プログラムとなっており、自己選択・自己決定して取り組むことができるように、支援している。	
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		①管理者兼保育士や児童発達支援管理責任者が主に会議に参加している。 ②直接支援者従事者も会議の場に参加する機会を作っていく予定である。	
	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・協力医療機関との連携の一環として、施設見学などの機会を設ける計画を立てている。	
	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。また、就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		①学校から行事予定の情報共有を受け、保護者との連絡体制も確立されている。 ②保護者に下校時間を確認しており、遠足や運動会等の変則的なイベントがある際には下校時刻を先生に確認をしている。	
	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・今年度、卒業の子どもに対して、移行へ向けた話し合いの場や必要となるスキルを話し合う機会を設けてきている。 ・要請があった際には、該当施設を訪問し、情報を共有している。	
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・地域の児童発達支援センターと、良好な関係を築き、必要に応じて、スーパーバイズや助言を要請できる体制を整えている。	
	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		必要に応じて、連携したり、参加したりできる機会を作れるように計画している。	・実施に至っていないため、実現に向けた取り組みを行っている。
	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		今後、行うかどうかも含め検討中。	
日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		今後、行うかどうかも含め検討中。		

	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今後、行うかどうかも含め検討中	
保護者への説明等	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に丁寧に説明している。また、保護者と面談を定期的に行い、支援プログラムについて、説明・確認している。	
	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者と面談を行い、現在の困り感や将来こうなっていきたい展望を聞いた上で、子どもの特性や現状に応じた計画を作成し、意向が反映されているか確認している。	
	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・定期的に面談を行い、子どもの様子を伝えつつ、放課後等デイサービス計画の内容を説明し、同意を得ている。	
	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・ご家庭や学校での困りごとがあった際に、電話やライン、連絡帳や送迎時など相談できる方法や手段を用いて、迅速に対応できる機会を作っている。	
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・現状、保護者同士で交流する機会を作成できていない。交流に抵抗をもつ保護者もいるため、慎重に開催に向けた検討を行っている。	・保護者同士が交流する機会を設けていく計画を作成していく。
	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・管理者や児童発達支援管理責任者へと直接連絡することができる体制を整え、迅速かつ適切に対応することができる。	
	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		①子ども達の支援中の様子はホームページやInstagramなどのSNSにて発信している。	
	個人情報に細心の注意を払っているか	○		①事前に子どもの写真の使用についてはアンケートを取っている。 ②各ご家庭のアンケート結果に応じて、フィルター処理を行っている。	
	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		①個々の特性に応じた意思の疎通がしやすくなるツールを作成している。 ②保護者への伝え方などにおいて、内容に齟齬が生じないように配慮した対応を行っている。	
事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		現状、一部の地域住民との交流を行っている。	・地域住民との良好関係が築かれていますが、事業所の規模により、正体イベ	

非常時の対応・満足度	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的に研修として学ぶ機会を作り、職員の意識向上に努めていく。	・現状開催頻度が少ないため、定期的を実施していく。
	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		①避難訓練を定期的実施している。 ②個別療育時と集団療育時と分けて実施している。	・アンケートにて、「わからない」との返答が多かったため、実施した際には、インスタなどで、発信していく。
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。また、食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		定期的に研修として学ぶ機会を作り、職員の意識向上に努めていく。また、てんかん発作時の対応方法などを確認し、適切に対応できる環境を整えている。	
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		契約時に説明を行っている。また、定期的に訓練などを実施している。	
	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		①子どもの疾病や行動特性について職員間で周知し、徹底している。また、適切な対応方法を確認する機会を設けている。 ②周知した内容を家族へ説明周知を行っている。	
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		実施済み。	
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		実施済み。	・現状開催頻度が少ないため、定期的を実施していく。
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		実施済み。	

